



YouTube
充填動画

とめ太郎®

“すう太郎(バックアップ材/吸水type)”

■取扱説明書■

〔事前にご用意する物 チェック表付〕



(注)不乾性・漏水補修用多用途パテ剤 とめ太郎®はマンホール・ハンドホール内、地下施設等 暗所での充填を想定した製品です。紫外線の直接照射が予想される場所でのご使用は、必ず事前に営業担当にご相談下さい。

221027

すう太郎(バックアップ材)取付～とめ太郎2層充填手順

とめ太郎 充填厚目安 (FEP管/2層充填)

最低充填厚 100mm



YouTube
充填動画

※但し漏水が激しい場合はベルマウスの長さ以上(推奨値)充填する事をお薦めします。
(推奨値Φ100・125:150mm厚 / Φ150・200:200mm厚)



①すう太郎(バックアップ材)をケーブルに巻き付け。



②ケーブル伝いに管路口奥側へ押込む。



③とめ太郎充填厚目安を参考に計測、位置確定。



④ビニールの上に軍手を重ねて装着、軍手を水に浸す。



⑤とめ太郎を濡れた軍手でオニギリ状に丸める。



⑥まずはオニギリ状のとめ太郎を奥側から入れ込む。



⑦オニギリ状のとめ太郎を入れ終わったら、入念に奥側⇒手前、下側⇒上側へと充填。特に管路凹部は指先で細かく充填する事で止水効果が向上します



⑧CVTケーブルの場合、仕上げに撚り中央部を指先で念入りに充填し、充填作業完了。



「とめ太郎」は高い粘性を有しています。ビニール手袋の上に軍手を装着し、水を浸しながらオニギリを作る様に玉状に丸めて充填すると作業効率がUPします。

～接続継手(ベルマウス)：古河電工社製 アクアコネクターΦ100～



とめ太郎 梱包付属品一覧表

製品名称	ラインナップ/付属品	
	5kg カップ付属品	1kg カップ付属品
バックアップ材 すう太郎 (吸水スポンジ)		サイズ 20×70× L=1,000mm (箱 5本入り)
オプション品		こんな場面でご使用ください ※仕様詳細は個別チラシをご参照下さい。
プレミックスモルタル 	1kg 袋	*ベルマウス口に規定値以上の水圧が見受けられる場合(最前列/3層目充填) *将来的にケーブルの入替えも無く、ベルマウス開口部を完全に塞ぎたい場合 (事前にケーブルメーカーへお問合せ頂く事をお薦め致します)。

とめ太郎 ご施工/ご用意する物一式(標準)

●下記チェック表はとめ太郎充填作業に於けるオプション品を含む、あくまでも標準的な準備資材となります。
各作業現場の法規に則った上、更に作業人数考慮の上、ご準備下さい。

画像	名称	ご使用用途	チェック
	とめ太郎 本体 * 5kg Cup(箱2Cup入)=10kg * 1kg Cup(箱8Cup入)= 8kg	* 5kgCup/大口径管路充填、または孔数が多い場合や、 漏水予防作業 などにお薦め! * 1kgCup/小・中口径充填、または緊急漏水の備えに 作業所の常備品 にお薦め!	<input type="checkbox"/>
	すう太郎 【バックアップ材/吸水type】 〔1m巻：オプション品/5本st 別売〕	2層施工の奥側に配置し、漏水を堰き止め 更に吸水typeの為、とめ太郎の充填中、すう太郎が流水を吸収し、とめ太郎をバックアップする役目 ＜取付手順は別紙ご参照下さい＞	<input type="checkbox"/>
	ビニール手袋 〔とめ太郎 全Cup付属〕	素手の上に装着	<input type="checkbox"/>
	軍手 〔とめ太郎 5kgCup付属〕	ビニール手袋の上に重ね合わせ装着 ＜小まめに水に濡らし、とめ太郎の充填効率UP＞	<input type="checkbox"/>
	雑巾	ベルマウス周り or ケーブル拭き上げ用	<input type="checkbox"/>
	ハサミ	すう太郎 【バックアップ材】切断用	<input type="checkbox"/>
	バケツ(お水入り)	軍手濡らし/清掃用 ＜作業員1名につき1杯がお薦め＞	<input type="checkbox"/>
	(注) *プレミックスモルタル ハツレ-る™ *エポキシ系接着剤〔オプション品/別売〕	【任意】規定以上の耐圧性能をお求めになる場合、施主様より硬化型仕上げ充填の指示が入った場合 【任意】ベルマウスの固定 またベルマウスツバの周囲の漏水(予防)処理後の仕上に!	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

(注) 上記エポキシ系接着剤はベルマウス固定やベルマウスツバ周りの漏水予防仕上処理のみにご使用願います。弊社ではとめ太郎とバックアップ材の2層施工を推奨しており、管路内の仕上処理はケーブル損傷への懸念、また作業効率やケーブル再通線の将来施工の観点で接着剤等でケーブルを固定する方式はお薦めしておりません。やむなく管路内の仕上処理でご使用の場合は施主様/建設会社様とのご協議又はケーブルメーカー様へお問合せ下さい。